

- 大項目
- 1

応募者の健全性
- 2

管理運営体制
- 3

図書館サービス
- 4

収支計画
- 5

提案事業

東浦町中央図書館 指定管理者選定 採点表

大項目		中項目	細項目	該当資料	着眼点	評価点基準	配点		採点
1	ア	応募者に関する項目	(ア) 図書館の運営実績	様式 6－1	他自治体における図書館運営の実績	実績数により評価する。 10件以上＝20点、9～7 件＝15点、6～4 件＝10点、3～1 件＝5点 (※5 年以上の業務実績がなければ、応募資格を満たさないため失格となる。)	20		
			(イ) 財務状況	財務状況に関する書類	財務書類から判断して経営が安定してるか、図書館の管理運営を継続的・安定的に行えるか。	①事業年度3 カ年（令和3 年度～令和5 年度）が全て黒字である＝5点 ②最新事業年度の自己資本比率が50％以上＝5点 (※債務超過になっている、損益計算書の純利益の赤字が継続している、営業キャッシュフローの赤字が継続している場合など財務状況が悪化しており、協定期間の事業継続に疑義がある場合は失格とする。)	10		
2	イ	人材に関する項目	(ア) 体制と人員配置	様式 6－2	人員配置、人数、総雇用時間が適切か。 司書資格者配置予定人数の多寡	「司書資格（司書補含む）を有する従事者の5 年間（令和7 年度～令和11 年度）の雇用時間／全従事者の5 年間の総雇用時間」の割合が高いほど高評価とする。 1 位＝50点、2 位＝30点、3 位＝20点、4 位＝10点、5 位＝0点 (※従事者の50％以上が司書資格（司書補含む）を持たない場合は失格とする。)	50		
			(イ) 従事者の資質向上策	様式 6－3	研修の種類・回数、資格取得や自主学習への補助の有無	①職域（新人、5年未満、中堅、館長・副館長など）に応じた研修がそれぞれ実施予定＝0～30点（研修の種類と回数が多いほど高評価とする。) ②資格取得や自主学習への補助がある＝20点	50		
2	ウ	緊急連絡体制、事故防止策	-	様式 6－4	緊急連絡体制が講じられているか。 即時対応できる特別な方策があるか。	緊急連絡体制があり、即時対応できる＝5 点 内容を満たさない＝0 点	5		
					事故防止、利用者安全対策が具体的か。	事故防止、利用者安全対策について具体的な取り組みがある＝5 点 内容を満たさない＝0 点	5		
3	エ	蔵書管理、選書	-	様式 6－5	蔵書管理、選書についての考え方。指定管理者が不適切な選書を行っていた事例に対する対応策	町の収書方針に沿い、公平性、郷土、町の地域性の指定からバランスのよい選書ができる。適切な予算配分及び計画的な資料購入＝10点 内容を満たさない＝0 点	10		
3	オ	読書推進事業	-	様式 6－6	読書推進事業、地域・ボランティア団体との連携について、具体的な方策があるか。	町子ども読書活動推進に沿った事業、地域やボランティアとの具体的な連携、高齢者・障害者に対する読書推進事業ができる＝10点 内容を満たさない＝0 点	10		
2	カ	苦情要望対応	-	様式 6－7	メールや書面で苦情や要望が寄せられた場合の対応方法、一次回答までの目安時間、素早く対応するための方策	苦情、意見への1 次回答は3 日以内に対応できる、苦情処理の管理を行う＝10点 内容を満たさない＝0 点	10		
3	キ	東浦町中央図書館の特色への理解	東浦町中央図書館の特色への理解	様式 6－8	東浦町中央図書館の特色の事例数（どの程度理解しているか。)	2 つ以上＝5 点、1 つ以下＝0 点	5		
			上記に対する発展方策		事例で挙げた特色について、発展方策があるか。	PR以外に具体的な発展方策がある＝5 点 PRのみ、具体策なし＝0 点	5		
4	ク	経費削減のための具体策	-	様式 6－9	経費削減策の個数や実現可能性を評価する。	経費削減策が2 つ以上あり、自社のノウハウを生かした内容で実現性がある＝5 点 内容を満たさない＝0 点 (※削減策の個数や実現可能性を評価するが、見積金額を評価する項目が別にあるので削減金額は評価しない。)	5		
4	ケ	図書館資料購入予定額	-	様式 6－10	図書館資料購入予定額	各年(電子書籍含まない) 13, 000, 000円以上＝15点、12, 000, 000～12, 999, 999円＝12点、11, 000, 000～11, 999, 999円＝10点、10, 000, 000～10, 999, 999円＝5 点、9, 999, 999円以下＝0 点	15		
3	コ	業務仕様書	-	業務仕様書	業務仕様書の内容を満たすことができるか。 仕様書について申請者に業務実施の可・不可を付けてもらい、不可かつ代案も不可であれば減点	仕様書審査表により集計する。 減点方式とし、不可の場合は不可の個数に応じて減点する。不可1 個につき5 点減点。 ただし、代案でも可の場合は減点しない。 合計がマイナス点になった場合は0点とする。	200		
4	サ	見積金額	-	見積金額	見積金額	見積金額得点表により採点する。	100		
5	シ	提案事業等プレゼンテーションに関する項目	提案事業	様式 6－11 プレゼンテーション審査表	選定委員の提案事業等に対する評価	プレゼンテーション得点表により採点する。	500		
			熱意、姿勢						
			その他評価すべき点						
							1, 000	合 計	0